

令和5(2023)年度第3回県東地域医療構想調整会議 並びに病院及び有床診療所会議結果報告書

- 1 日 時 令和6(2024)年3月13日(水) 午後1時30分から午後2時50分
- 2 場 所 栃木県庁芳賀庁舎4階 大会議室
- 3 出席者 県東地域医療構想調整会議委員、病院及び有床診療所管理者、事務局：別紙名簿のとおり
- 4 結果概要

○第一部：県東地域医療構想調整会議並びに病院及び有床診療所会議

議事進行：趙 達来議長（真岡西部クリニック院長）が議事を進行した。

< 議題(1)、(2)、(3)、(4)、(5) >

医療政策課から配布資料の議題(1)～(5)について説明した。

議題(1) 地域医療構想の進捗状況の検証について【資料1】

議題(2) 令和5年度病床機能報告集計結果の概要(速報版)について【資料2】

議題(3) 外来医療の機能の明確化・連携について【資料3】

議題(4) データで見る県東医療圏の医療について【資料4】

議題(5) その他

ア 医師の働き方改革について【参考資料】

イ 今冬の医療負荷の状況及び課題等について【資料は画面投影のみ】

< 質疑応答・意見等 >

【議題(1)について】

(趙議長)

県東地区の方からアンケートでいくつか指摘があったが、これについての分析などは後ほどいただけるのか。

(事務局)

この地域の意見ということですので、むしろ皆様の中でその意見が合っているのか、例えば今後どういふことが必要かということについてご意見いただければありがたい。今回はデータとして分かる状態になるように意識しています。

(趙議長)

アンケート内容が、本当に実態に合っているのかどうかということも含めて、検証はあったほうが良いと感じているので、後ほど検証していただければと思います。

【議題(2)について】

質疑等、特になし

【議題(3)について】

(趙議長)

紹介受診重点医療機関の指定について、毎年、調整会議で承認を得ることとなっているが、この地域では芳賀赤十字病院だけである。厚労省のQ&Aにあるとおり承認手続は簡素化できることになっているので、事前に事務局から各委員に諮っておき、会議の場では追認という形を取ることよろしいですか。

(委員一同)

異議なし。

(趙議長)

それでは、原案のとおり芳賀赤十字病院を紹介受診重点医療機関とすることとしてよろしいですか。

(委員一同)

異議なし。

(趙議長)

それでは原案のとおり決定しました。次年度からは簡素化をお願いします。

【議題(4)について】

(趙議長)

対象の疾患が脳卒中、急性心筋梗塞、肺炎ですが、脳卒中は流出が少し多いが、心筋梗塞は半々ぐらい。ただし、脳卒中の場合は、その後 TPA をやる症例の場合、受け入れ先の病院を探すし、心筋梗塞の場合は、アンギオをやるのに、まずはある所を探しているのではないかと思う。したがって圏外に搬送先を選んだ理由を付け加えてもらえると、タイミング的にマンパワーが不足していたとか、本当は流出しなくてよかった事例があったというようなことがわかると思う。充分、芳賀赤十字病院で TPA もアンギオもできるので、キャパ的には県東圏域の中で充分カバーできるのではないかと思う。その辺の解析があれば、増員で対応できるとか、こうすれば流出が防げるというような、これからの対策にもつながっていくように思う。肺炎については、県東圏内で収まっていると思うが、急性心筋梗塞と脳卒中に関しては、もう少し詳しい分析があるといいのではないかと個人的に思いますので、よろしくをお願いします。

【議題(5)アについて】

(趙議長)

医師の働き方改革について事務局から説明がありましたが、芳賀赤十字病院の本多先生、いかがですか。

(本多委員)

当院では約 4500 台を超える救急車が来ているので、県東地区の医療を確保するためにどうしても 960 時間で収まらないドクターが出てきてしまう。その対策として、宿日直許可を取ることが先決だが、労基署に申請したところ、産婦人科は夜の 11 時から朝の 8 時半まで部分的な宿日直許可が取れた。小児科も申請し、1 回目はだめだったが 2 回目で院内の運用基準を見直して夜の 11 時から朝 8 時半まで宿日直許可を取れた。その中で、B 水準で義務化されている勤務間インターバルがクリアできる。

内科と外科系は交代で救急の当番をしているが、宿日直許可を取っていない。それはすべて時間外勤務と言う形でカウントされるので、どうしても 960 時間を超える医師が出てきてしまう。そのため、救急の忙しい準夜帯に自治医科大学から救急担当医を派遣してもらうという形で来年 4 月から始める予定にしている。その中で医師の時間管理をした上で宿日直許可が申請できそうであれば、さらに 960 時間を超える医師の削減につなげられるのではないかと考え、いろいろと取り組んでいるところである。

(趙議長)

福田晴美先生はいかがですか。

(福田委員)

出来る範囲で救急も受けているが、常勤の医師が週に 3 コマから 4 コマ宿日直をやっている。当直の翌日も医師によっては外来や検査があり、そこで休むと余計に大変になってしまうので、1 週間以内に半日の代休日という形で対応している。

【議題(5)イについて】

(福田委員)

ただいまの分析は非常にわかりやすく、一部の射ていると思うが、あくまでも定点の数が減ったというのは、9月までは検査が無料で、治療も補助金が出て安くできていたこともあり、同居している人も皆、検査を受けていた。4月からさらに上がりますが、検査をすると自己負担分が増えますし、今でさえコロナの治療薬の価格を聞くと、断る患者もいるぐらいなので、自己負担が増えることによって、同居している人が検査をしたがらないということと、そもそも症状が軽い人は受診に来ないということがあると思うので、定点の数が減っているから患者が減っているのだ、とは思わない方がいいと思う。

(本多委員)

この場で質問することが正しいのか、よくわからないが、今日、早川先生がいらしているの
で伺いたい。

医師の医療圏ごとの医師数ということで、医師偏在指数、医師少数圏とか医師多数圏とかという話があり、その偏在を均等化するのがいいのではないかという意見が出ていたようだが、医師多数圏の地域の先生に伺うと、医療機能を維持しようとする、医師多数圏でありながらも医師が足りないという話を聞くので、もう少し機能を加味した医師の適用人数を決められる方法があれば、検討してみてもどうか。

(早川)

前提として、いわゆる医師偏在指標というものは、その地域の充足度合いではなく、全国一律で横並びに見るためだけに作られているものですので、地域の充足状況は分からないと思っている。全国の中でその地域の医療ニーズ、単に人口当たりの受療率と指数を比べているというものなので、過不足の評価には使えないと思っている。

医師確保自体は国のガイドラインの診断指標を用いることとなっている。栃木県の中でその地域の特殊性や地域の治療を加味して、充分か充分でないかの議論にはなっていないと強く感じている。

大事なことは、特に県南地区に大学病院が2箇所あるが、その医療機能を維持しなくてはならない中で、どのように県全体で医療を提供して行くかを考えていくと、それぞれの医療機関の事情を伺いながら、何科のどういう部分が足りないのかとか、県内の中に限られた医師をどう配置していくかを考えていかなくてはならないと思っている。一番難しいのは、限られた医師数の中で、県全体でどのような医療を提供をしていくかであり、医療機関の役割を改めて見直していただく必要があると感じている。県としては、医療機関の皆様方とディスカッションしながら検討できればと考えている。

(本多委員)

地域医療構想調整会議の中で、病床機能ごとにだいたい何人くらい医師が必要なのかを割り出せると、もう少し具体的に、果たして当院の人員がいま適性数なのかどうか等、具体的な医師数が割り出せるのではないかという印象をずっと持っているところである。

(早川)

病院の調査は毎年行っていて、診療科ごとの医師数などを把握しています。ただし、病床機能報告は病棟単位であり、病床機能報告だけで人数計算をすることはかなり難しいと思っている。可能な方法は医師配置の部分も視野に入れて検討しているので、そうしたのもも提示しながら意見をいただいて進めていきたい。

(趙議長)

私は開業医で医師会の代表として参加しているが、芳賀郡の医師会員数がだいたい120名で、90歳が2名、80歳代が6名、70歳代が20名、60歳代が40名と、還暦を過ぎた医師が多数いる。

50歳代は30名で、20年後も大丈夫だと思うが、60歳以上は20年後にはほとんど引退していると思う。開業医がどんどん増えればよいが、実際はほとんど増えて来ないので、そうすると学校医や予防接種事業を維持できないという問題もある。県東地区はかなり厳しい医療情勢だと思う。病院もスタッフをどうやって確保するかで頭が痛いと思うが、医療スタッフに関しては、県東地区は栃木県内では負け組だと自分では思っている。開業医も増えず、病院機能の維持についてもいつも心配しているので、よろしくお願ひしたい。

(早川)

元々、外来医療計画自体も地域単位になっているが、その地域単位で解決できない部分の対応もこれから検討しなくてはならないと改めて思ったところである。その場合には医師会単位での対応というところだけではなく、県内の医師にどのように協力してもらおうかということも外来医療計画の中で検討したいと思う。

(以 上)